

決算説明資料

2024年12月期 第2四半期

2024年 8月 9日

KINJIRO co., Ltd.

勤次郎株式会社

1. 2024年12月期 第2四半期実績

2. 成長戦略

3. トピックス

2024年12月期第2四半期 連結決算サマリー

■ 連結損益計算書

- ・売上高は、第2四半期において過去最高を記録
- ・営業利益・経常利益・当期純利益とも、第2四半期業績予想を大きく上回る
- ・クラウド事業の拡大に伴う先行投資（コスト増）およびソフトウェア償却費の増加により、第2四半期の利益は当初前年同期比でマイナスを計画していたが、売上の上振れとコスト管理の徹底により第2四半期業績予想を上方修正して着地した

（単位：百万円）

	2023年12月期 第2四半期実績	2024年12月期 第2四半期業績予想 (2024年2月9日発表)	2024年12月期 第2四半期実績	前年同期比	業績予想比
売上高	1,970	2,029	2,068	+97	+38
営業利益	298	188	281	▲17	+93
経常利益	296	188	286	▲10	+97
当期純利益	189	120	190	+1	+70

事業別売上前年同期比

■ 売上高

・クラウド事業はクラウドライセンスの拡大により堅調に推移、オンプレミス事業を含めたHRM事業全体も拡大

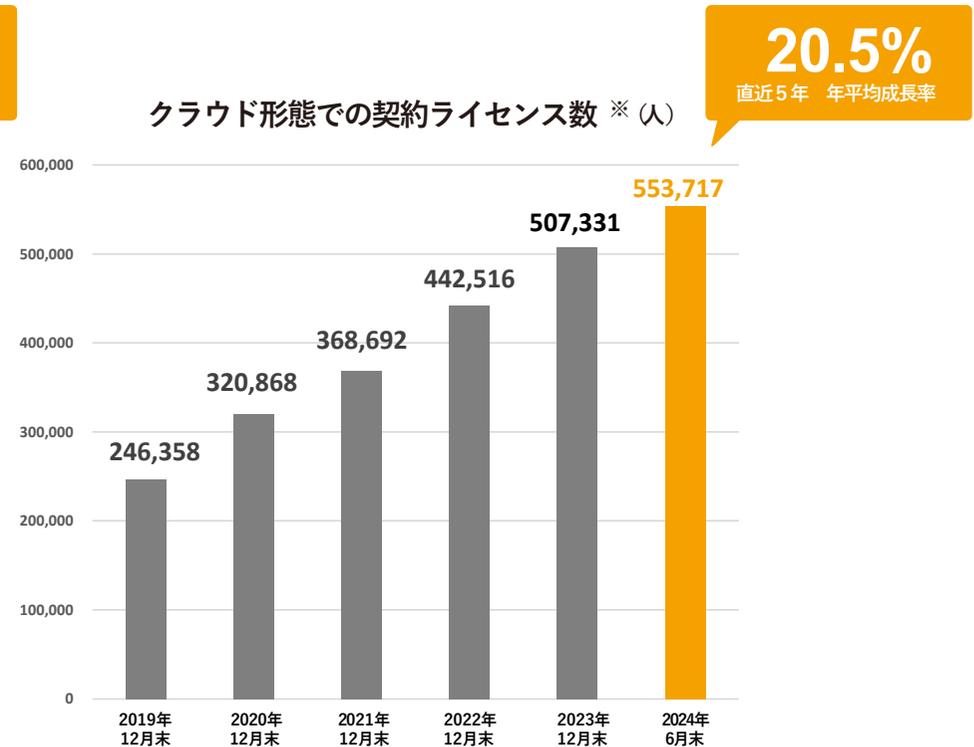
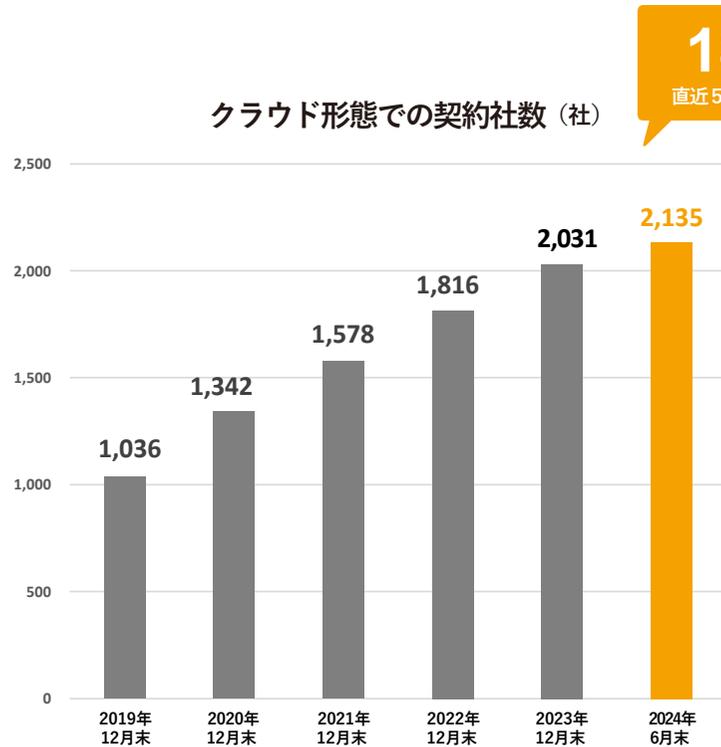
(単位：百万円)

事業区分	売上区分	2023年12月期 第2四半期実績	2024年12月期 第2四半期実績	前年同期比 増減率
クラウド事業	クラウドライセンス	938	1,069	+14%
	クラウドコンサルサポート	237	256	+8%
	上記以外	49	61	+24%
	クラウド事業計	1,225	1,386	+13%
オンプレミス事業	プレミアムサポート	284	286	+1%
	ソフトウェア製品	188	198	+5%
	ソフトウェアコンサルサポート	110	74	▲33%
	就業情報端末	63	36	▲44%
	オンプレミス事業計	647	595	▲8%
HRM事業計		1,873	1,982	+6%
不動産賃貸事業		97	86	▲11%
売上高		1,970	2,068	+5%
リカーリング・レベニュー※		1,231	1,363	+11%

※クラウドライセンス、プレミアムサポート等で構成されています

契約社数および契約ライセンス数

■ 契約ライセンス数は年平均成長率20.5%と高い成長



※ 契約ライセンス数は、顧客企業の1従業員が複数サービス（就業・人事・給与・健康経営）の利用がある場合でも1(人)として集計しています

ARPUの推移

ARPU	2022年9月	2022年12月	2023年3月	2023年6月	2023年9月	2023年12月	2024年3月	2024年6月
Enterprise	351円	353円	351円	351円	353円	352円	351円	370円
Smart	115円	117円	118円	118円	118円	117円	117円	120円

クラウド解約率

■ クラウド月次平均解約率は0.20%と低位安定

クラウド解約率*



※ 月次平均解約率。当月解約ユーザーに対する収益 ÷ 前月末収益で算出

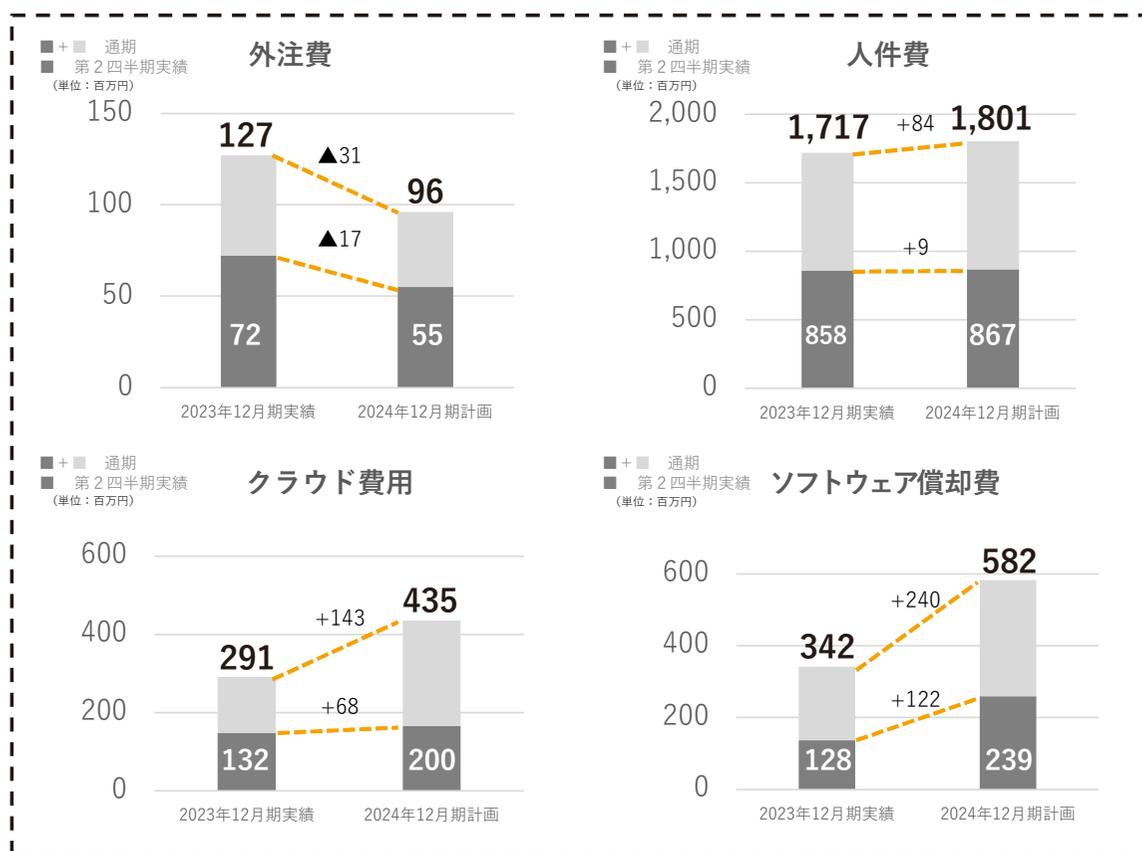
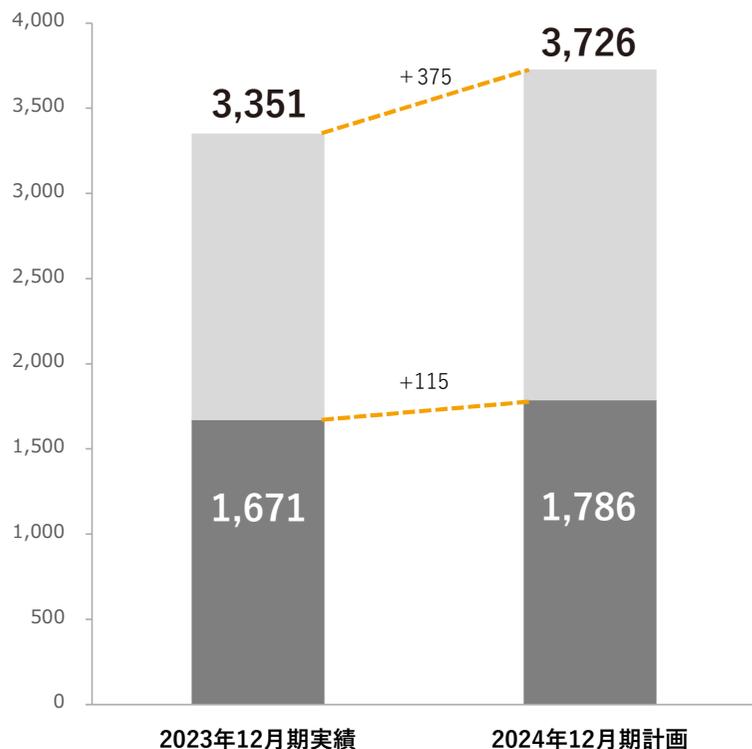
コスト構造

■ 2024年12月期第2四半期のコスト構造

- ・クラウド事業の拡大に伴う先行投資（クラウド費用）とソフトウェア償却費等の増加を、外注費を中心としたコスト管理(ベトナム子会社の活用)により第2四半期では前年同期比+115百万円の増加にとどめた

■ + ■ 通期
■ 第2四半期実績
(単位：百万円)

費用の推移（連結）



1. 2024年12月期 第2四半期実績

2. 成長戦略

3. トピックス

中期経営計画

■ 目標とする経営指標

- ・ 2024年12月期は、クラウドへの移行を加速するための製品開発などの先行投資を拡大する計画
製品開発に伴うソフトウェア償却については2025年度以降の伸びは鈍化する見込み
2027年度以降に計画している100万クラウドライセンス達成のため、クラウド設備に関わる費用は2025年度以降も増加を計画
- ・ 2025年12月期は、売上高は15%伸長、営業利益は66%と大幅な伸長を目指す

(単位：百万円)

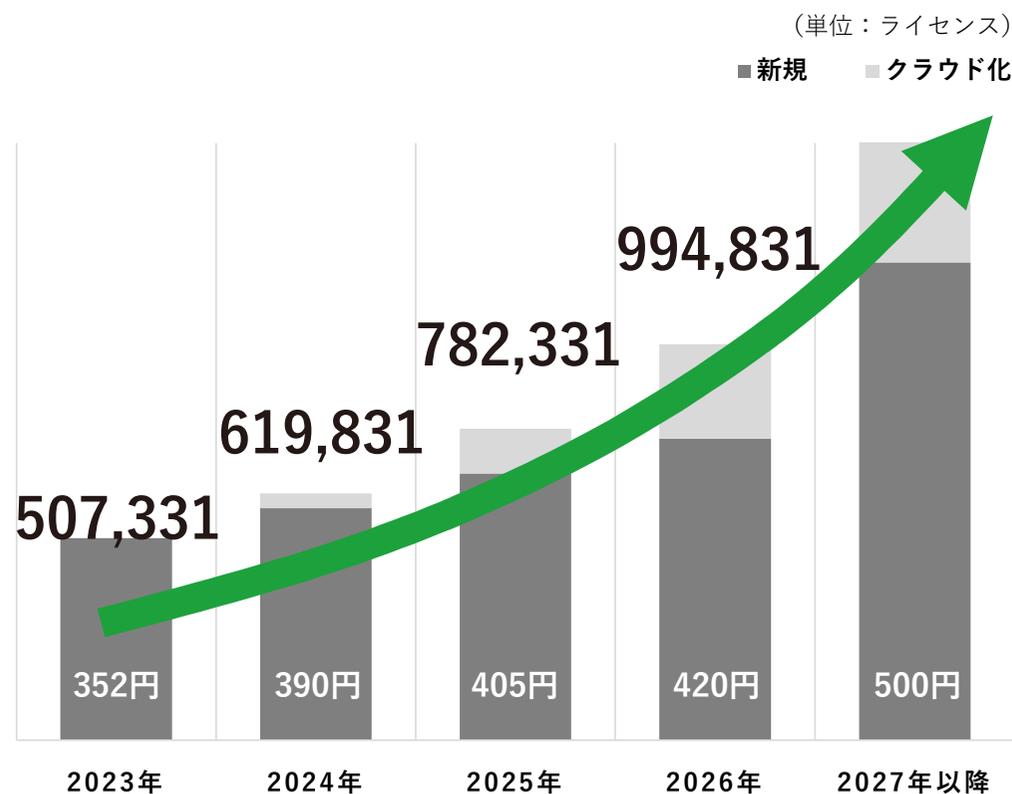
勤次郎 グループ連結	2024年 12月期 (当事業年度)		2025年 12月期		2026年 12月期	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	4,300	10%	4,950	15%	5,700	15%
営業利益	573	0%	953	66%	1,215	27%
営業利益率	13.3%	-	19.3%	-	21.3%	-

中期経営計画

■ 3つの強化ポイント

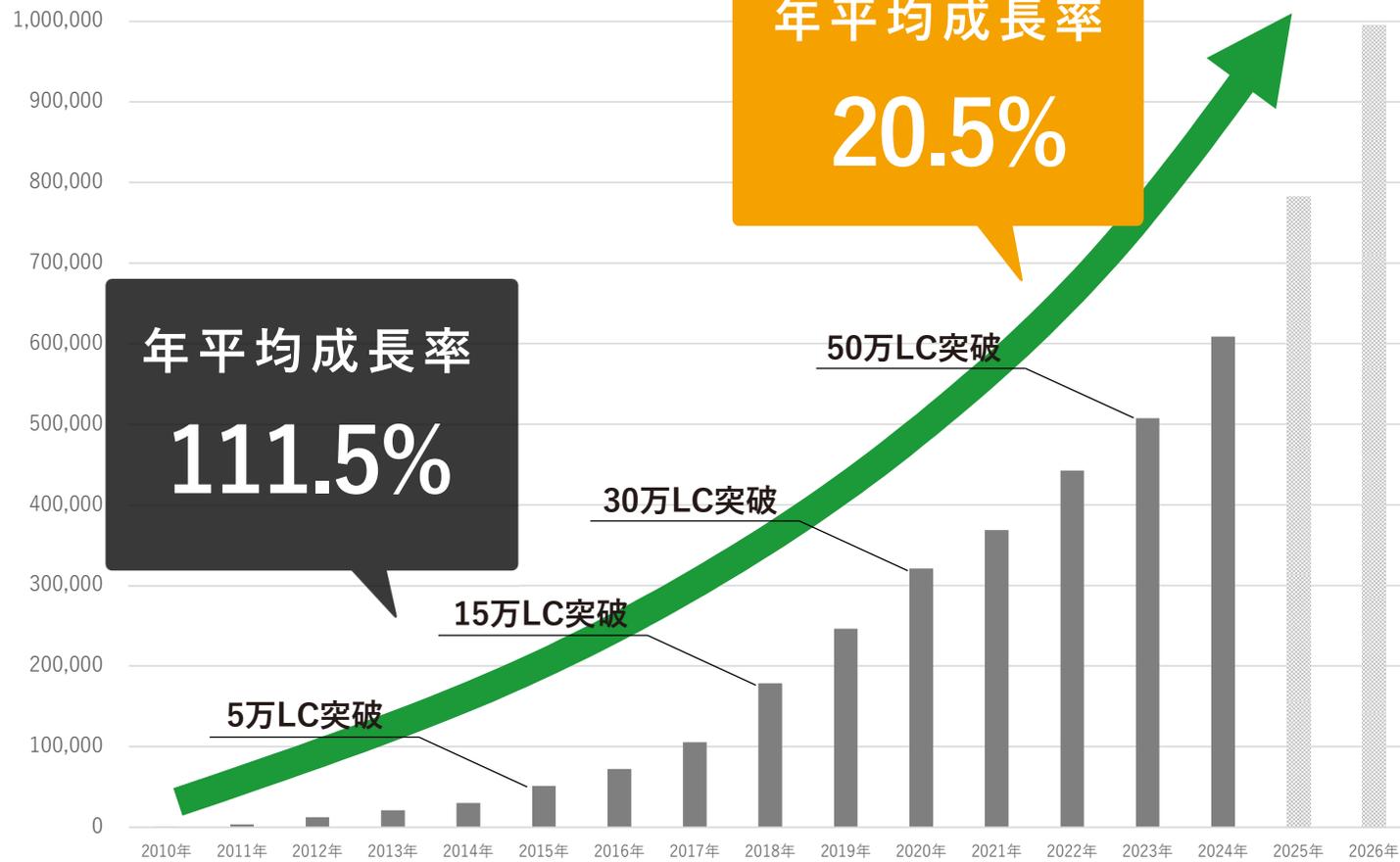
- 1 勤次郎Enterprise
オンプレユーザーの
クラウド化
- 2 HRMオールインワン
ソリューション開発加速
- 3 プライシング戦略

ライセンス数とARPUの目標イメージ



クラウドライセンス

(単位：ライセンス)



1. 2024年12月期 第2四半期実績

2. 成長戦略

3. トピックス

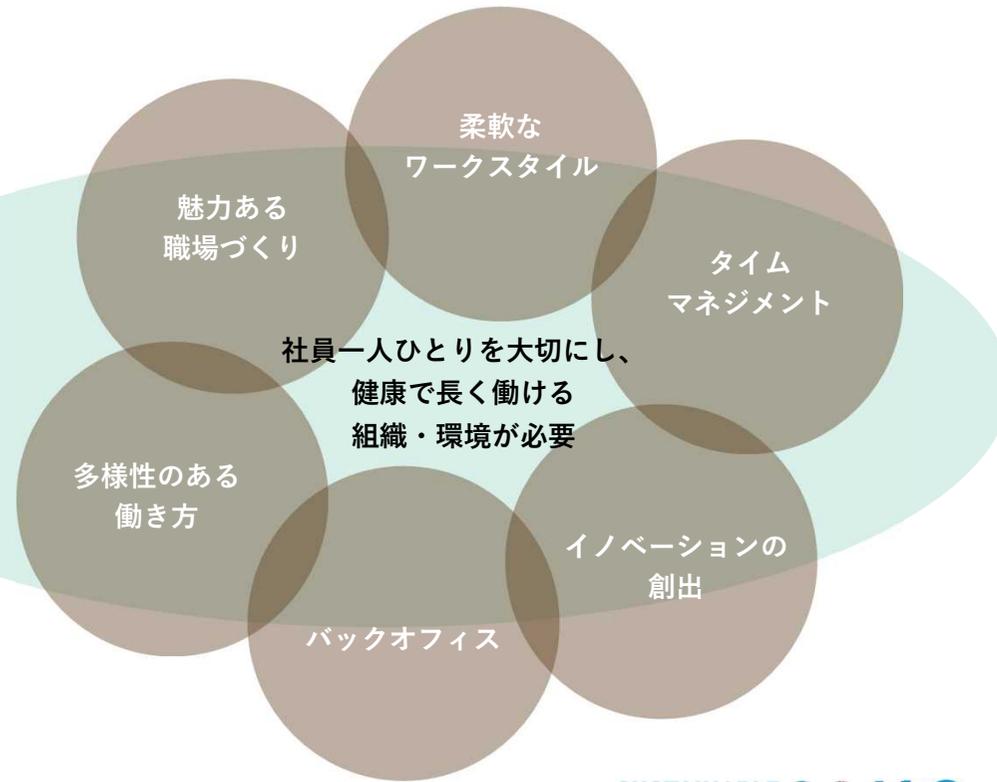
勤次郎のミッションと強み

■現代日本の社会課題を解決する製品・サービスを提供

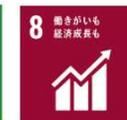
今後、労働人口は大きく減少し働き手一人ひとりの活躍が重要

「Universal勤次郎」で、企業のHRMに貢献し、
日本が抱える社会課題を解決していきます

勤次郎
UNIVERSAL KINJIRO

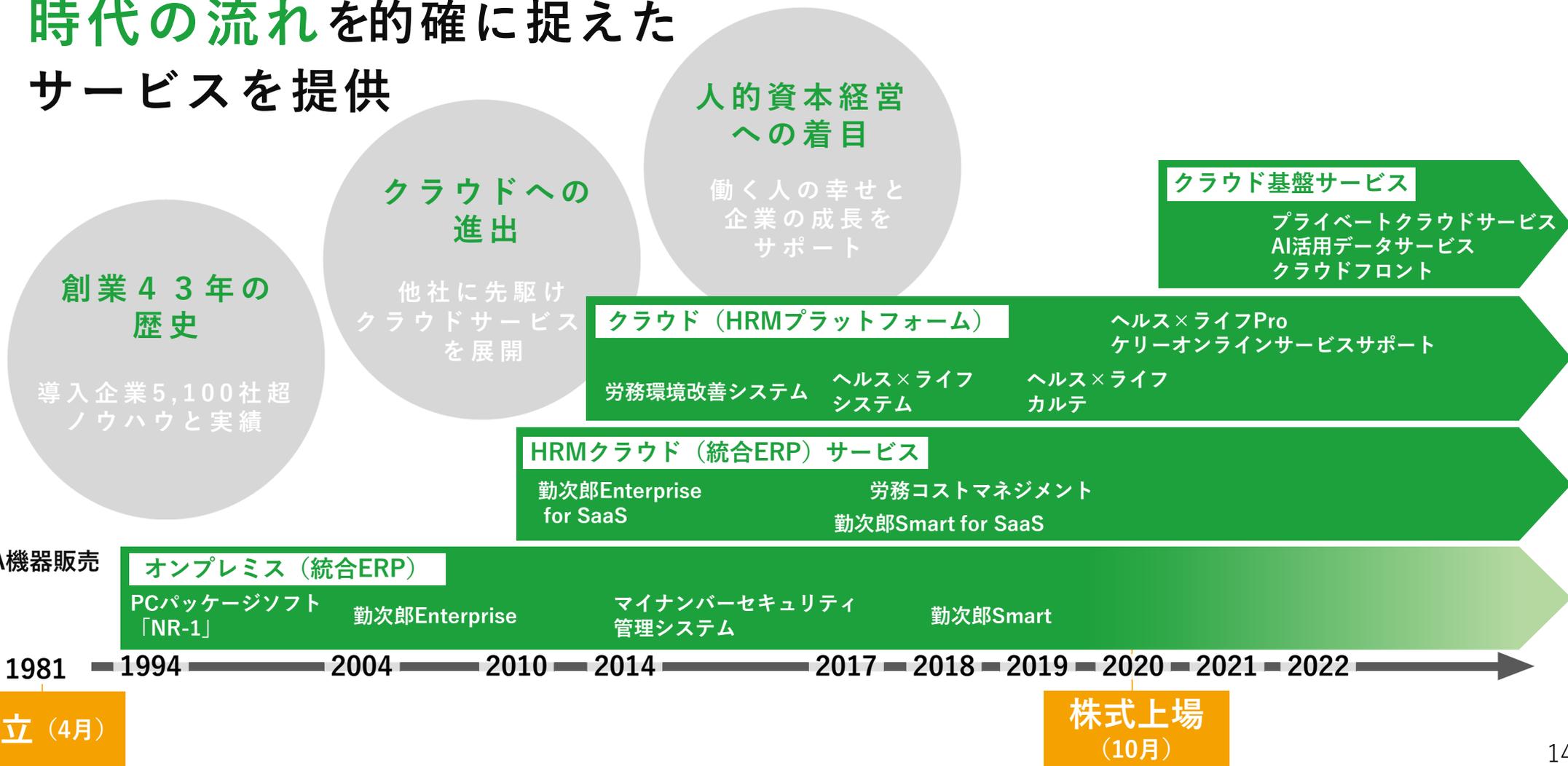


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



勤次郎の歴史

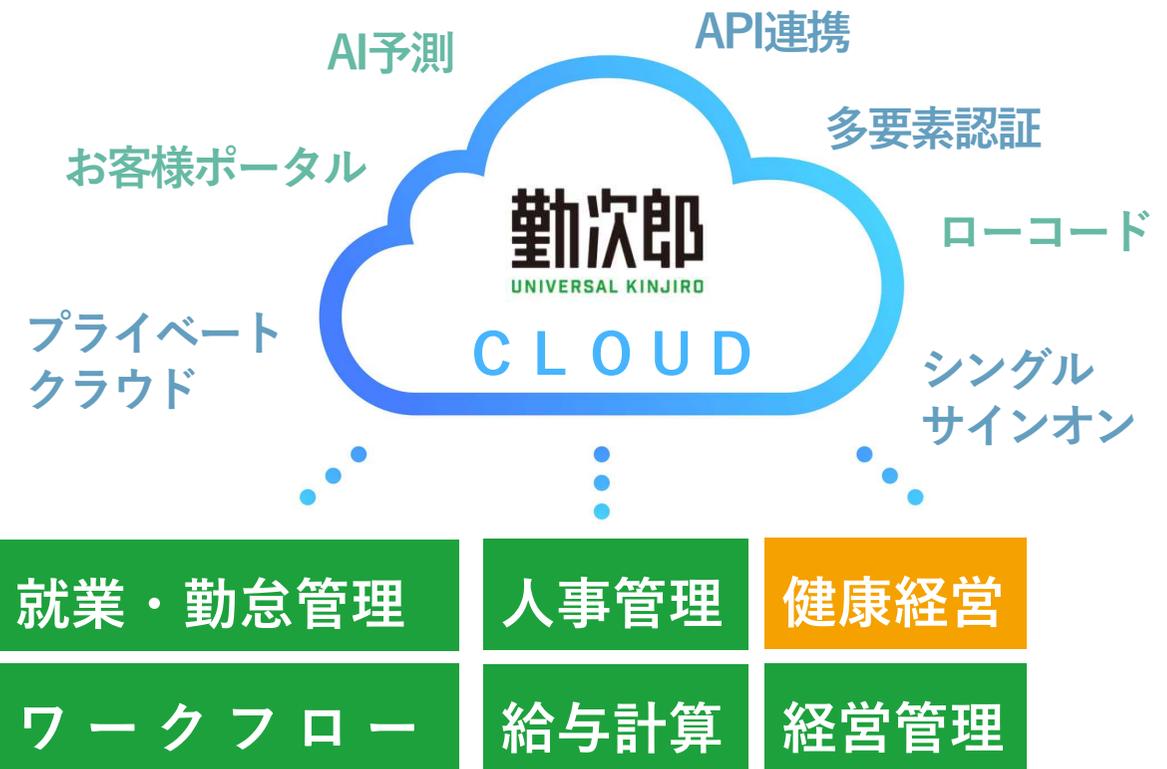
時代の流れを的確に捉えた サービスを提供



事業内容

「働き方改革 & 健康経営」の実現のために労務と健康を同時に管理、
「労働生産性」の向上を通じて「企業価値向上」に貢献

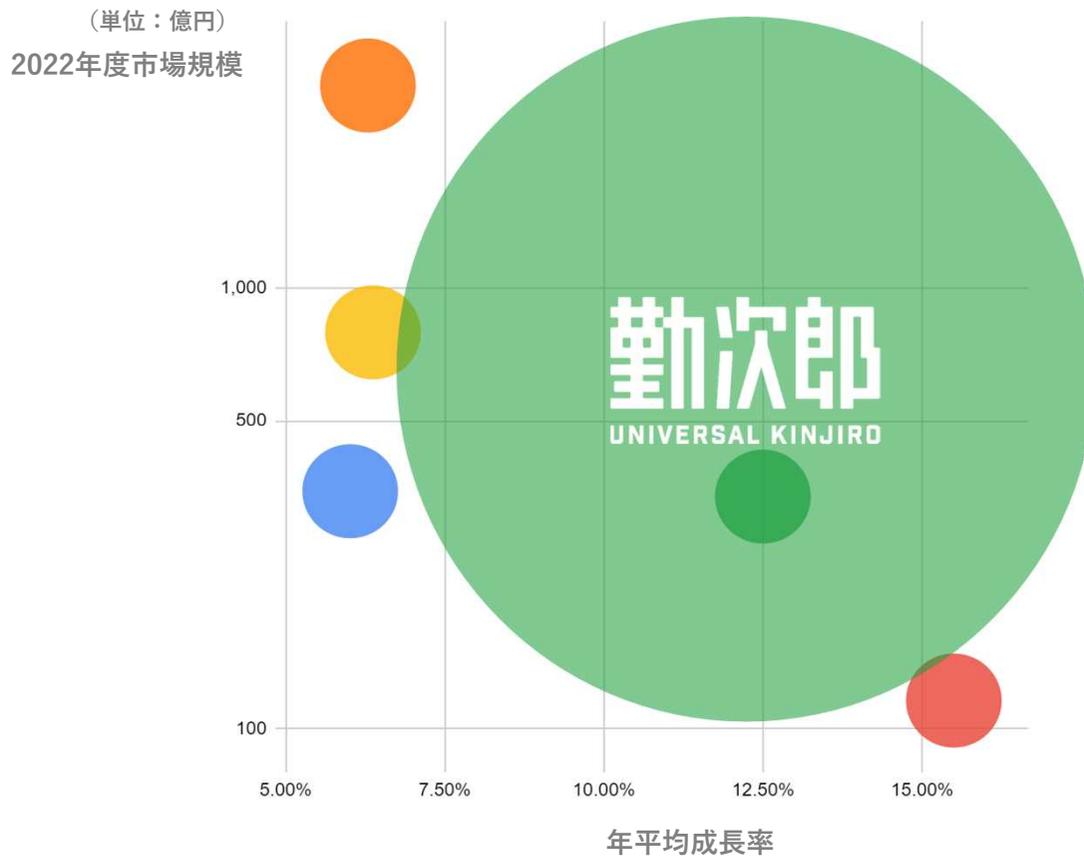
働く人の
健康と幸せが
企業の未来を築く



人的資本経営

2022年度市場規模（億円）と年平均成長率（'27/'22）

● 勤怠管理 ● 健康管理 ● 人事・給与 ● 経費精算 ● グループウェア



成長市場である
健康管理システムの強化で
HRMのトップランナーを目指す

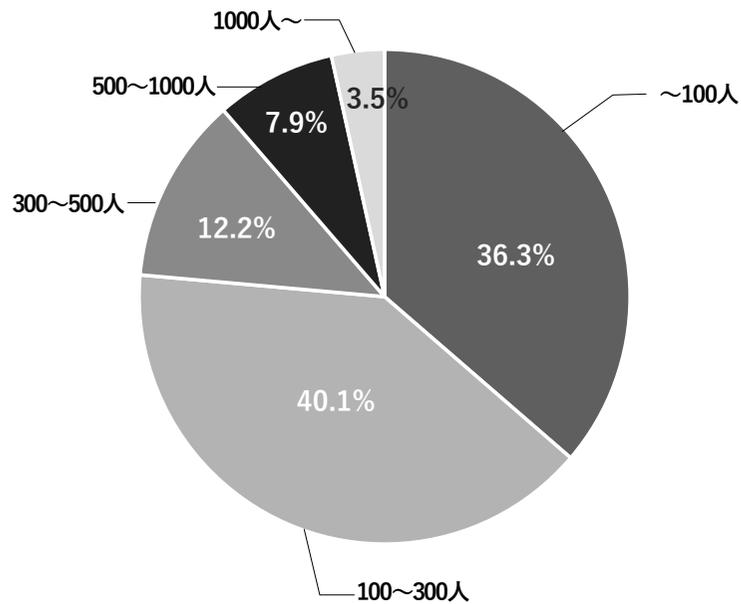
	年平均成長率	市場規模
グループウェア	6.3%	2,867億円
就業・勤怠管理	6.0%	345億円
人事給与	6.4%	793億円
経費精算	12.5%	335.5億円
健康管理	15.5%	116億円

出典：富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2023年版」

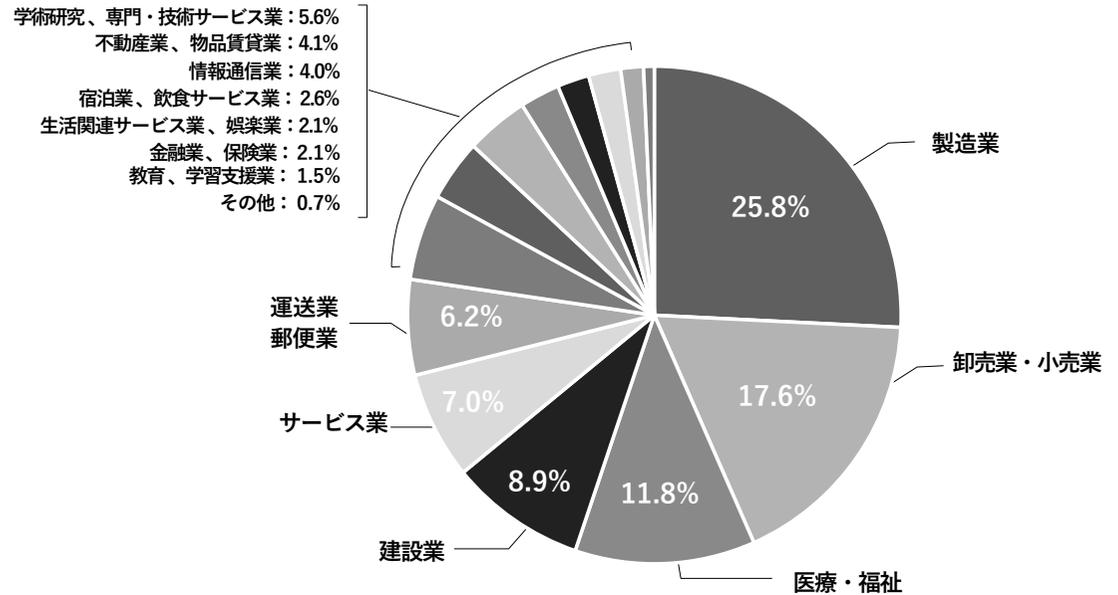
勤次郎導入実績構成 規模別・業種別状況

■ 中小企業から大企業まで、多様な業種のニーズに対応

従業員規模別の導入構成



顧客の業種別比率 ※多種多様の企業に導入



※2024年6月末

< サステナビリティ >

健康経営への取り組み

■7年連続で「健康経営優良法人」に認定

経済産業省と日本健康会議の「健康経営優良法人 ホワイト500」に3,520社中100位以内として認定。

■健康経営への取り組み

- ・社員のパフォーマンス指標をプレゼンティーズムとして、毎回のストレスチェックと同時に定量的に計測。
- ・ワーク・エンゲイジメント、パルスサーベイなどを用いて定期的にPDCAを回しています。

■「HRM プラットフォーム」を自社で活用

- ・「Universal 勤次郎〈健康経営〉」により健康データの悪化を早期に発見。
- ・「オンラインサービス&サポート」で産業医と社内保健師が連携、面談や措置には遠隔面談ツールを使用。

■「なごや健康宣言優良事業所」も受賞

「名古屋市×協会けんぽ」に「健康経営を推進する優れた取り組みを実践している企業」として表彰されました。また、協会けんぽ愛知支部より、2年連続で「健康宣言優良事業所」を受賞しました。



健康経営度調査フィードバックシート

CODE: 004013

確定版

令和5年度 健康経営度調査フィードバックシート

法人名: 勤次郎株式会社
 英文名: Kinjiro Co.,Ltd

■加入保険者: 全国健康保険協会愛知支部 上場
 ■所属業種: 情報・通信業

①健康経営度評価結果

■総合順位: **51~100位** / 3520 社中
 ■総合評価: **64.2** ↓0.6 (前回偏差値 64.8)
※「ホワイト500」に該当するかについては、回答法人全体ではなく申請法人に絞った順位で判定するため、フィードバックシートの順位から繰り上がり認定される場合があります。

②評価の内訳

側面	重み	貴社	回答法人全体トップ	業種トップ	業種平均
総合評価	-	64.2	66.9	66.0	50.7
経営理念・方針	3	66.6	69.6	68.3	50.2
組織体制	2	66.3	68.8	68.6	50.3
制度・施策実行	2	67.0	70.3	68.9	51.4
評価・改善	3	58.6	66.9	63.9	51.0

※各側面の数値は、回答法人全体の平均に基づく偏差値です。各側面の数値に重みを掛けた値を合算して、得点・順位を算出しています。
 ※トップの数値は項目毎の最高値です。なお、所属業種の有効回答が5社未満の場合、業種トップには「-」を表示しています。

HR EXPO（東京・名古屋）に出展

- 「第14回【東京】HREXPO」5月8～10日 東京ビッグサイト に出展 (総来場者数：33,937名)
- 「第6回【名古屋】HREXPO」7月17～19日 ポートメッセなごや に出展 (総来場者数：12,117名)

「ワーク・エンゲイジメントを高める働き方革命」が展示コンセプト

「勤次郎株式会社」としての企業ブランド、及び「Universal 勤次郎シリーズ」の製品アピールによって、企業認知向上と直販推進（案件獲得）を図ることを狙いとした展示を行いました。人事・総務担当者・経営者・経営企画部の方々に対して、ワーク・エンゲイジメントが高まるオフィスを想定したデザインにより、お客様だけでなく説明員もリラックスしてパフォーマンスが向上するよう配慮した展示ブースとしました。

東京
ビッグサイト



ポートメッセ
なごや



2024年 勤次郎元気プロジェクト活動状況

- 若手社員による「勤次郎元気プロジェクト」で、健康経営への取組みをさらに強化
様々なイベントを実施



2024年度の活動コンセプト

「もっと楽しく」「より気軽に」「さらに健康に」

- ◆ 毎月第2水曜日：ゴミ拾いイベント
・ 名古屋本部ビル周辺エリアを対象に、運動を兼ねて実施



- ◆ 元気プロジェクト 公式LINEアカウント開設
・ 社員がもっと気軽に参加できる仕掛けとして
公式LINEアカウントを開設！



- ◆ 歩数イベント
・ 普段の歩数が近い社員をグルーピングし、
グループ内での歩数を競う



勤次郎ベトナム(100%子会社) 10周年記念

■勤次郎ベトナム10周年!

2014年に設立された勤次郎ベトナムが10年目を迎えました。
創業時はわずか6人のメンバーでスタート、その後、2023年に社名を変更。
現在は50名を超えるメンバーとなっています。

今後も当社の製品開発力をさらに強化するために、勤次郎ベトナム社員
の潜在能力を引き出し、共に発展することを目指します。



■元気プロジェクト ベトナムへ拡張

健康経営を推進し、社員のワーク・エンゲイジメントを高める施策
「勤次郎 元気プロジェクト」がベトナムへ拡張。
日本で実施している施策を勤次郎ベトナムでも同時開催することで
より一層、日本との繋がりを強化。



免責事項およびご注意

本資料の掲載内容のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当し、これらの記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいており、リスクや不確定な要因を含んでいます。

実際の業績は、経済情勢、業界における競争状況、新サービスの成否などさまざまな要因により、これら業績などに関する見通しとは大きく異なることがあります。

働く人の健康と幸せが、企業の未来を築きます

勤次郎
UNIVERSAL KINJIRO